



人が笑む、街も笑む。
マーチング委員会情報誌
[プラス・エム]

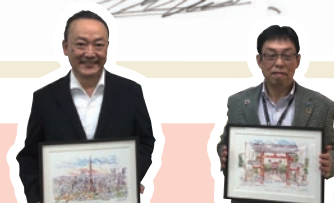
2021. 1



今号の街／東京都港区芝公園

作品タイトル: 増上寺 初詣 作家: 上野啓太

芝公園内にある、浄土宗の大本山、増上寺。本尊には阿弥陀如来を祀り、徳川家との関係が深いことから勝運のご利益が高いことでも有名。また、近くの東京タワーに集まる天の気と、東京湾からの海の気が融合され、運氣が高まる場所としても人気。国の重要文化財である「三解脱門」をくぐると、むさぼり・怒り・愚かさの煩惱を解脱されると言われています。



カバーアートの街で活動する
『浜松町・芝・大門マーチング委員会』の
情報を裏表紙でご紹介します! ▶▶▶

特集: マーチング活動事例紹介❶ 湯島本郷マーチング委員会
まちなみイラストの展開は自由な発想で、映像にもつなげて

特集: マーチング活動事例紹介❷ 会津マーチング委員会
会津にルーツを持つ二人のイラストで新たな物語を生み出し、地域貢献

マーチング委員会「日本全国おすすめ情報」
地域活性の取り組み紹介「キラリ輝く地域メディア」



一般社団法人
マーチング委員会®



東京都 文京区
湯島本郷マーチング委員会
代表：利根川 英二

まちなみイラストの展開は 自由な発想で、映像にもつなげて



イラストは上側「東大赤門」左側「湯島天神」右側「文京シビックセンター」

地域の絆、 コミュニケーションペーパー

マーチング委員会活動のフロントランナーとも言える湯島本郷マーチングだが、その歩みはコツコツと地道な活動の積み重ねである。

地域をつなぐコミュニケーションペーパー『湯島本郷マーチング通信』は、約10年前から発行しており、現在は隔月発行で71号に至っている(2021年11月現在)。タブロイド判モノクロ印刷全4ページで、地域で活動している人にスポットをあてたインタビュー記事やグルメ情報などの丁寧な取材記事が特徴。発行部数13,000、地域の様々な場所に置かれているほか、新聞折り込みでも各世帯にも届けられている。QRコードから電子版『湯島本郷マーチング通信

ウェブサイト』に入ることできる。

地元企業からの協賛広告が活動資金の一部になってはいるが、制作はほぼボランティアで行っており、制作スタッフは地元在住の主婦2名(乙部さん、長崎さん)と株式会社TONEGAWAディレクターの瀧村さんと林さん。「地域の絆であるツール」としての役割を矜持として、毎回の編集会議から取材執筆や撮影、編集デザインまで楽しみながら行っている。取材などを通じて地域のいろいろな人との出会いの場であるとともに、湯島本郷マーチングの活動を伝える役割も果たしていると言えよう。

まちなみイラストが映える 建築囲い

また、ビジネスとしてきちんと成り立って

いるのが、建築囲いだ。工事現場を囲う塀にまちなみイラストを用いてデザインし、近隣の住民や通行する人々に楽しんでもらう即席のギャラリーとも言えるもの。マンションやビルなどの建築現場ではトラックが往來したり工事で騒音を発したりと地域の住民に迷惑をかける。その状況において人々の気持ちを少しでも和らげ、工事期間中の建築現場に潤いを与えることができれば、という思いで始めた。「街も良い、施主も良い、施工する建築会社も良い」という、マーチング委員会の基本的理念でもある「三方徳」を実現している。

具体的な進め方としては、地域の不動産屋さんや信用金庫などで建築の情報を得たり、施主となる方や建築会社とのコミュニケーションをベースにしたりして、建築が決定したら建築囲いを提案する。



右から湯島本郷マーチング通信
創刊号から10年、左端は現在のデザイン



湯島本郷マーチング
通信70号ebook



湯島本郷
マーチング通信HP



湯島を歩く
湯島天神菊祭り編



湯島本郷マーチング通信 HPトップ



中面記事と広告バナー



取材スタッフ左から乙部・瀧村・長崎



事務局の利根川芳明



朝陽館マンション建設(三菱地所レジデンス)



春日・後楽園再開発事業(大手建設会社3社)



TONEGAWAビル建設囲い(生和コーポレーション)



フクダ電子様 本郷事業所(鹿島建設)



まちなみギャラリー担当 三木・瀧村



◀ 湯島本郷マーチング委員会
「まちなみギャラリー」
建築仮囲いデザインパネルの施工例

実際に現場の写真を撮ったうえで囲いのサイズを想定し、まちなみイラストを配したデザインまで作成して見せる。建築囲いの費用は施主さんか建築会社に負担してもらおう。

湯島本郷マーチングでは8年ほど前から手がけており、予算は30万～300万円くらいまでと言う実績だ。利益率は、社内に大判プリンターがあったりデザイナーがいたりすれば変動するが、だいたい60%くらいだという。マーチング委員会の特別協賛をしてくださっているコニカミノルタさんの子会社キンコーズさんでも建築囲い用の大判プリントが可能だ。

実際にまちなみイラストの優しい色使いの建築囲いを設置すると、騒々しい建築現場の雰囲気が和らぎ、立ち止まってイラストに見入る人の姿もあるほどで、好評を得ている。

時代は動画へ、可能性はより幅広く

「これからは動画の時代。動画を作れるスキルを持てば、可能性はぐんと広がる」と利根川さん。

『建築囲い』事例集は、QRコードから動画が見られる仕組みを用意している。まちなみイラストをコンテンツとして、これまで多くの委員会がやっているハガキなどだけでなく、動画を使った展開も呼び

かけたいそう。利根川さんの経営する会社はコロナの影響で2020年4～7月の売り上げが厳しかったが、そんな中、動画制作、自社の持っているスタジオ使用や配信などの案件が増えており、全売上の35%を占めるまでに成長している。動画はさらに売り上げの大きな柱になるという手応えを感じつつ、マーチング委員会でも動画を取り入れていけば、さらに活動の幅が広がると考えている。動画と紙媒体を連動させたり、SNSを使った発信をしたりしていけば、新たなコミュニ

ケーションが育んでいけそう。

「まちなみイラストだから紙媒体、と言うのではなく、もっともっと自由な発想を持って、自分たちが持っているコンテンツをきっかけにしているんなことをやってもらいたいと思います。コンテンツを持つことで地域とより親和性ができるので、それを活かしてもらいたい。地域にはいろんな情報が集まっている、それをいかにキャッチし、提案につなげていくか、そこに自由な発想を取り入れてください」と利根川さんは熱く語る。■

POINT! 「継続は力。やり抜くことが大事。」

最初からうまくいくことなどなかなかない。コツコツと続けることが成功につながる。それは会社の経営とまさに同じである。湯島本郷マーチング委員会の建築囲いの例を挙げると、最初に手がけたのは小学校の隣の建築現場で、子どもたちに注意を促す意味もあって子どものイラストを配した建築囲いを小学校、PTA、湯島本郷マーチングの3者で協力してやろうと提案したところ、すると「それをやってみようか」と言う声があった。その時はデベロッパーが地域対策費30万円で建築囲いの費用を負担してくれたが、利益はほぼゼロだった。しかし、活動を継続しているうちに理解も広がり、価値が認められるようになり、建築会社の方から「あそこの建築囲いを見て、うちの現場でもぜひやりたい」と申し出があったり、新築マンションの現場では建築会社が300万円の費用をかけたり、と着実に成果が実ってきていると言う。

「成功の秘訣は、やり抜くこと、これに尽きます。よく、社内でマーチング活動の為に人員がさけなくて、と言うのを聞きますが、担当者一人でやっていくのではなく、みんなで共有して進めればよい。継続できる工夫をすることが、結果的に活動を持続でき、成果を上げていく近道になると思います」利根川さんの熱い思いは地道な努力の継続により結実を遂げてきている。



福島県 会津市
会津マーチング委員会
代表：志藤 弘彰

会津にルーツを持つ二人のイラストで 新たな物語を生み出し、地域貢献



野口英世青春通り／作井ルビ

漫画家の描く、リアルな心象風景

会津マーチング委員会が始まったのは2018年のこと。三洋印刷社長の志藤さんが福島印刷工業組合で一緒にいわきマーチング委員会の鈴木さんからマーチング活動のことを聞き、興味を持ったのがきっかけである。その後わかったことだが、約10年前、湯島本郷百景の活動をしていた利根川さん（現・マーチングアカデミー塾長）とイラストレーターの上野さんが紹介されたNHKのニュース番組を観た記憶があった志藤さん。「これは面白い取り組みだ」と思っていたことが蘇り、あの二人の活動が今やマーチング委員会として全国規模に発展していることに感動し、「ぜひ、うちもやりたい」と思った。こうして誕生したのが会津マーチング委員会である。

そのタイミングに合わせたかのように、作井ルビさんという漫画家との出会いがあった。作井さんが描いている会津若松を舞台にした漫画『あかまつ』（講談社刊）を読んだ志藤さんは、地元会津若松の様々な風景の中で展開される物語性のあるキャラクターに魅力を感じた。さらに作井さんは漫画とはまた違うタッチで会津若松のリアルな風景も描いてTwitterにアップしていた。それを見た志藤さんは、子供の頃に過ごしたシーン、心象風景とも言えるものが



鶴ヶ城北出丸通り／作井ルビ



日新館天文台跡／作井ルビ

作井 ルビ 漫画家 代表作『あかまつ』（講談社コミックス）

たちまち広がって来て、作井さんに連絡を取りたいと切望。その熱意が通じ、会津若松に取材に来ていた作井さんと会うことができ、そこでマーチング委員会の活動を説明し、会津マーチングのために

地元のイラストを描いて欲しいと申し出たのだ。すると、作井さんから祖母が会津若松出身だった縁で子供の頃よく訪れていたという話が出て、会津マーチングのイラストを描くことを快諾してくれた。



只見線コメントプロジェクト「スッカナと只見線」



色鉛筆画展～故郷の色～「お母ちゃんライダー」



カレンダー故郷の色2021「大志のお地藏さま」

大竹 恵子 色鉛筆画家

福島県大沼郡金山町大志出身。小次郎イラストスクール卒業、故郷の奥会津を色鉛筆で描く、二科展イラストレーション部門第89回奨励賞受賞、パッケージ、ポスター、その他多くの作品を手がける

しかし、その矢先にコロナ感染拡大により現地に取材に入れない状況になってしまい、現在までやっと3点のイラストが出来上がったところだ。

桜が満開の北出丸通りから望む鶴ヶ城。野口英世が火傷の手術をした病院があり書生時代に過ごした場所でもある野口英世青春通り。江戸時代の会津藩校日新館の施設で唯一残る天文台跡（2019年日本天文遺産認定）。

もっともっとイラストを増やし、その後展示会開催やグッズの展開をしていきたいと考えている。

色鉛筆画家が捉えた 会津若松の魅力

さらに、もう一人、イラストを担当してもらう人がいる。色鉛筆画家の大竹恵子さんだ。神奈川在住だが会津出身で、故郷の原風景的なイラストをずっと発表してきている。三洋印刷とはそれまでに地元の旅館のパンフレットにイラストを描いてもらうなどの縁があり、会津マーチングの話をしたところ、意気投合。大竹

さんが一年をかけて会津の風景を取材して絵を描き溜め、ぬり絵の本にする予定で進めている。ぬり絵を楽しみながら、会津の魅力を感じてもらえればという意図だという。

この件もコロナの影響で予定より進行が遅れているが、現在まで12点のイラストが完成している。

地域に貢献するための活動として 発展させていきたい

コロナ禍の中、イラスト制作を進めている会津マーチングの今後の抱負は、イラストを使って地域貢献に努めていく

こと。作井さんに描いてもらったイラストにある天文台跡は日本天文遺産に認定されたものの維持管理が大変で、観光客が訪れても駐車場の整備ができていないなど、環境対策も追いついていない。2020年に保存会が立ち上がったところだが、会津マーチングでは今後天文台跡のイラストをタオルなどのグッズにして販売し、その収益を保存会に持続的に寄付していけるようにしたいと考えている。

まだ活動を始めたばかりの会津マーチング委員会だが、率いる志藤さんのモチベーションは「故郷をよくしたい、地方をよくしたい」との思いに他ならない。■

POINT! 「日常的で見過ごしがちな感動に気づく」

今回、会津マーチング委員会がイラストを依頼している二人とも会津若松にルーツがありながら現在は離れた土地に暮らしている。志藤さん自身も学生時代に故郷を離れて東京で暮らした経験を持つ。そうした距離感を持てると、ある意味、俯瞰的な視点で故郷を見ることができ、それが故郷の魅力の再発見に繋がっているといえよう。当たり前だと思っていたことの素晴らしさに気づく、そんな感動もマーチング活動の大事なポイントである。



大分県 別府市
別府マーケティング委員会

別府を旅する全ての人に似合う あたらしいみやげもの

ベップニュースタンダード



日々湧き出る温泉のようにエネルギッシュなアイテムを届けます。

35事業者が試作を重ね完成した これからのスタンダード。



株式会社 樋口紙器工業所
〒874-0930 大分県別府市光町2-6 <http://beppu-newstandard.jp/>
beppunewstandard@gmail.com TEL:0977-24-1771

みやげものはつなぐもの。土地と人、日常と非日常、体験と思い出。旅した私たちが物語ってくれるもの。

ベップニュースタンダードは、別府市とビームスのコラボレーション事業「BEAMS EYE on BEPPU」の公募によって集まった地元の事業者が立ち上げた「あたらしいみやげもの」を展開するプロジェクトです。

いつの時代も幅広い層に愛されるみやげものを目指し、別府で活躍する35の事業者たちが、試作を重ね完成した「これからの別府のスタンダード」に是非ご注目ください。



愛媛県 松山市
いよマーケティング委員会

長く愛される、丁寧な手作りのぬくもり 砥部の土、水、風土が生み出した伝統工芸品

砥部焼(窯元 きよし窯)



なめらかな手触りと優しいデザインは心を和ませてくれます。(右写真:山田ひろみ氏)

暮らしに溶け込む 温かみのある作品です。



砥部焼窯元 きよし窯
〒791-2133 愛媛県伊予郡砥部町五本松364番地
<https://www.facebook.com/kiyoshigama/> インスタグラム:きよし窯 (@kiyoshigama)
kiyoshigama@titan.ocn.ne.jp TEL/FAX:089-962-2168

1957年に創業した【きよし窯】現在、国の伝統工芸士の資格をお持ちの2代目の山田公夫氏・ひろみ氏ご夫婦によって、砥部焼の可能性を広げる様々なチャレンジを続けています。ひろみさんは大学でグラフィックデザインを専攻されており、その感性から砥部焼のデザインに新たな風を吹き込んでいます。また砥部焼の女性作家グループ「とべりて」

のリーダーも務めています。現在活躍の場は広がり、道後温泉別館「飛鳥乃湯泉」などの主要観光地に山田ひろみ氏デザインの陶板壁画が採用されています。きよし窯のぬくもりのあるデザインと豊かな色彩が、愛媛の街を彩っています。



鍋島裕俊が選ぶ

キラリ☆輝く 地域メディア



皆さん、コロナ禍の中、「キラリ☆輝く」地域メディアとは?どういったものなのでしょうか。

前はスモールエリアの良さを魅力的に紹介する地域メディア「不忍界限」を紹介しましたが、今回は「ヒト」に照準を当てた地域メディアを紹介します。

私は、この「ヒト」に照準を当てた地域メディアを、勝手に「まちびとライブラリー」と呼んでいます。紹介するメディアは、「ときがわ職人図鑑」です。

ここには32人の「ヒト」が載っています。

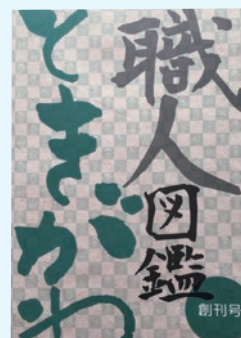


埼玉県 ときがわ町

file
No. 03

まちの宝で観光資源でもある「職人」の “生き様や素顔”を通じて魅力を紹介

『ときがわ職人図鑑』定価1,000円(税別) 発行:ときがわ職人図鑑制作委員会
＜編集・制作 ときがわ編集舎＞埼玉県比企郡ときがわ町大字玉川 2490番地 起業支援施設iooffice



「ときがわ」は、東京の都心から80分の埼玉県比企郡ときがわ町のことで、人口1万1千人の自然豊かな町です。この小さな町にも“深いこだわりを持った「なりわい・生き方」をしている人”すなわち職人魂を持った人がおり、その生き方を紹介するメディアが「ときがわ職人図鑑」です。「ときがわ職人図鑑」の本文は、一人一人に対して、「職人魂」を教えてください?これまでの最大のピンチは?今一番の関心事は?と問いかけるのが表ページ、その裏ページには、その人の“別の顔”、違った一面を載せています。

本業ともう一つの顔、誰しも持っていますね。それとプラスして「ときがわ」地元“一推しの場所”も聞いています。これは地域の良さを解き重ねています。

みたくります。私は、この「ときがわ職人図鑑」を手にとった時に、この“まちびとライブラリー”のスタイル、冊子を見た記憶があり、そうだ「船橋人物図鑑」だ、と思い出しました。「船橋人物図鑑」は昨年に第4号が発行されていて、船橋の活動している人99人を、1人1ページずつ紹介しています。この「船橋人物図鑑」は載っている人が資金を出し合って、船橋にはこんな活動をしている面白い熱い人が多々います、まさに船橋の名刺代わりに使われています。私も載っている方から名刺代わりに頂きました。そして「ときがわ職人図鑑」の発行に関係していた知人に尋ねてみたら、「船橋人物図鑑」を知って、そのスタイルを参考にしたと話をしていました。やはり、繋がっていました。

2001年には岡本太郎現代芸術賞の優秀賞を受賞しています。

「応援先生」「韓国先生」「タコ釣り先生」「パーカッション先生」「フィールドデッサン先生」「ラー油先生」「焙煎先生」「ガチャガチャ先生」「回転木馬先生」などなど



私は開発さんの「100人先生」という本を横浜の建築・アート系の本を置いているブックカフェで知り、即座に購入しました。まさに参加型の活動をされている開発さんらしく、「誰もが先生、誰もが生徒」を合言葉に、横浜の様々な人が毎回「先生」になり、ちょっと「えっへん!」と思えることを持ち寄ってトークやワークショップなどを行い、誰もが生徒にもなり、まさに人間ライブラリーです。

地域の面白さは、やはり「ヒト」で、人は多種多様、同じ人はいないし、その違いを語れば、誰でもが「先生」になれるということを実証していますね。■

- ・本業)不動産、地域、エンタメを操るオールラウンダー
→ 別の顔)必殺、ゴミの仕分け人
- ・本業)自慢は“社風”地域で目指すグローバル企業
→ 別の顔)貝類を愛する、水玉の紳士
- ・本業)地域の課題は、“編集スキル”でクルッと解決
→ 別の顔)妥協なき、麵への情熱

なんか一人一人と会って話をして

もう一つ、参考までに“まちびとライブラリー”のスタイルを踏襲した本を紹介します。それは、「100人先生」です。この「100人先生」を提唱している人は、開発好明さんで、参加型の作品を中心に国内外で活動する美術家で、

◎マーチング委員会の最も得意とする地域の見せ方、そこに住み暮らす「ヒト」の見せ方を加えて、「1000人物図鑑」を、“まちびとライブラリー”を、全国各地で発行することが、コロナ禍の「+m」スタイルなメディアだと考えます。



鍋島 裕俊

折込広告文化研究所 代表
元 朝日オリコミ社長室長、メディア戦略アドバイザー

朝日新聞社系の折込広告会社に営業で入り、その後、出版、マーケティングを経て、現在、メディアの方向性を考える戦略セクションに所属。折込広告全国大会の分科会やセッションのプロデュースを担当。折込広告に関する過去の著作は、「商業界」「食品商業」「宣伝会議」「販促会議」「物価資料」など多数。

ポストコロナの印刷経営

『四方良し』とマーチング活動

一般社団法人マーチング委員会理事

瀬田 章弘



約30年前に外資系印刷機械メーカーを退職し、12番目の社員として実家の町工場に戻りました。その時分の夢は2つ、社員が幸せに暮らせる会社を創ること、そして中小印刷会社の社会的地位を向上させることでした。自社をより良くすることは後継者としての当然の使命ですが、同時に働く人たちの社会的な評価を上げて行かねばならないと真剣に考えていました。これは今でも続く永遠のテーマでもあります。では社会的地位や評価はどうすれば上がるのでしょうか。安定した経営状況や社員の高い待遇から評価さ

れるといった面も勿論ありますが、最も大切なことは社会にとって必要な会社、無くてはならない存在になることだと思います。いくら大きく立派な会社でも自社の利益のみを最優先する経営をしているのであれば、決して社会や地域から褒めて頂く事は無いと思います。地域や社会には沢山の問題があります。これを一緒に考え解決する会社になったとき私たちは社会から尊敬される存在となり同時に事業も発展していくものだと思います。

コロナ禍により5年～10年先の社会が一気に現れたと多くの識者が語っており

ます。ポストコロナの重要なキーワードは環境・デジタル・地方創生と言われます。それはサステナブルで快適かつ彩りと喜びにあふれる社会づくりを皆で推進しようということなのだと解釈しています。CSR・SDGsという言葉もますます普及してきました。そして、経営においては『四方良し』という言葉が注目されています。つまり買い手良し、売り手良し、世間良し、それに未来良しを加える四方良しです。

マーチング委員会の活動とは地域の人と人、人とのことを未来へと繋げることです。この継続的活動によって自社も活かされ四方良しとなってくるものだと思います。この渦中、皆で知恵と力を出し合い、それぞれの地域を未来に向けて共に築き上げて行きましょう。今こそ我々の活動が大切な時だと考えます。

マーチング委員会[今後のスケジュール] マーチング委員会公式ホームページ <http://machi-ing.jp/>

2021/1/20(水) マーチングアカデミー塾 第3回ウェビナー(ZOOM)

「+M」の各コーナーごとのマーチング委員会によるプレゼン/「居酒屋 宮ちゃん」:交流会



2021/2/19(金) マーチング委員会 総会・全国大会
(お茶の水エデュケーションセンター:湯島)

リアルとオンラインのハイブリッド方式



マーチングEXPO 2020 Zoom大会 動画配信中!

2020年10月16日、マーチング委員会の定例イベント「マーチングEXPO」をオンラインで開催しました。QRコードから配信の模様をご視聴いただけます。



表紙の街の委員会紹介

浜松町・芝・大門マーチング委員会 <http://www.konicaminolta.jp/pr/machi/>



マーチング活動エリアの港区職員と関係者

東京は港区芝の臨海部に広がる浜松町。かつて東海道の日本橋と品川宿をつなぐ要路にあり、近くには徳川将軍家の菩提寺・増上寺があるなど江戸のおもかげが残るまちです。文明開化の象徴である鉄道が最初に通ったのもこのまち。いま東京港を臨んで超高層マンションや先端企業本社の近未来風景が広がっています。モノレールで空港、そして世界とつながる浜松町はグローバルな発展の可能性を秘めたまちです。

浜松町・芝・大門マーチング委員会

所在地 東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング26階
コニカミノルタジャパン内

代表

日比野 薫

企業HP

コニカミノルタジャパン株式会社 <http://bj.konicaminolta.jp>

連絡先

090-2428-4128 (日比野)



表紙(右下)の人物写真: 協賛企業のコニカミノルタジャパン社の大須賀健社長と「浜松町・芝・大門マーチング委員会」の日比野代表